

兄貴のきんだま八疊敷「コレ早う歩きんかお前への足べたには困るナア、またなんや喰っているナア……」
 「フム……土手下でみたらし。買ふて喰ふて居るのんや」コレ若いもんがみたらし喰ふたりしいないな
 ア、何……甘いか、うまけりや、私しにも一つおくれ「お前かて喰ふやろう、ちよつと見て見イ、忍
 らう仰山人が出て居るなア」それは時候が好いの今日は天氣が好いから、澤山人が出るのや、サア
 是れからお前を、野崎の觀音さんまで、歩かさずに連て行くのや「エライ負ふて行て呉るか」誰がお
 前の様な大きな男を負ふかいな……「「けれども歩かさんと云ふたやないか」「舟に乗せて連て行くの
 や」舟は板一枚下が地獄やないか」其替り板一枚上は極樂やで「こゝらに舟が有るか」向ふに澤山舟
 が着いて有るがな……「アレハ小便買舟やがな」そんな事を云ふて遣りなや、無縁經の間は綺麗に掃
 除して、毛氈の一枚も敷いて有る。乗つてやり、オイー船頭はんもう船ハ出るか「ハイお前方お二人
 乗つて貰ふたら、直に船を出しますせイ」直ぐ船を出すと云ふて依る、乗つてやり、船頭はんなんぼ
 やえ「一人前五錢づゝや」誰がごてつくね「ごてつくや無い、五錢づゝやと云ふてます」一人前が五
 錢づゝなら二人前が拾錢で、三人前が拾五錢四人前が二十錢やなア「ハイ何人乗りなさるね……」「二
 人やがな」そないに仰山勘定を仕なはん「オイー船頭はんこれ五錢が二枚やオイー取つて」「へエおーけ
 に、もし大將此の錢一枚、つるゝやな」「へつゝ……あんじよ見イ、其れは寶丹の人物やがな」
 しよむない事をせずに替へとくなはれ「こーちへかし替へて遣ろ、サア是れを取り」濟みまへんなア
 ……なんや是もつるゝやがなア「ハツハ……ふところの中をくゞらしたのや、オイー船頭はん此邊に
 近目の兩替屋は無いかいな、あつたら是れ替へてんか」しよむない事をしなはん……「サア遣るぜ」

「へエ大きにおかたしけなふ」オイー船頭早う船を出しんか「へエもう二三人ほどお客さんを乗せんと
 ○(錢)の都合がおますので……」「エイやないか船を出したらまた何うなと、皆に頼んで貰うてあげる
 がな」オイー猪ーお客さんがまた何うなと仕て遣ると仰しやるで、船を出そう、此のぼつこを其所へ
 投込んで置いて呉れ、歸りに寒いといかんから、出しますソオ……ウント……其所のお客さん「イヤ
 私かな」誠に濟みまへんが、チヨツと其體を張つてんかな「張つても構ワンか」ハイ一ツ體をポンと
 張つとくなはれ「ヨシヤ、此人やな」ポカン……(頭を張る音)「ア、……痛……こら無茶をすない何
 しやがんね、人の頭を張つて」「イヨー俺知らんがな、船頭が供を張れと云ふたので、あんた此人の供
 やろ、そやよつて一ツ張つたのやがな」無茶な人やなア「コレ其様な無茶したら、何うもならん、お
 客さん勘忍しとくなはれや、イーエーナ違ふがな、あんたの前の棒杭を持って、氣張つてと云ふのやが
 な」ソウなら然う云ふたら宜いのや、供を張れと云ふから間違ふのや、此の棒杭を捕捉へて氣張るの
 やな……ヨシや此の棒杭やな、ウムートしよ、やつと……しよと……」お頼み申しますせソレ、ヨツ
 ート何で此様に船が動かんやろか、イーやヨツト……「オイー船頭はん最う放しても宜いか手がぬ
 ける」ナンや船が動かぬと其様處を持って居るのかいなア、ソウやない其の棒杭をポンと突いてお呉れ
 と云ふのやがな」そんならつけ(初め)から然う云へば宜いのや、供張れとか棒杭持て氣張れとか云
 ふよつてに、やゝこしいのや此の棒杭を押ししたら宜いのやな、宜しや押すで……ウームと、イヤア清
 やん勢おいと云うものは偉いもんやな、むかついてウーンと突いたら堤が跡へあんだけ寄つた」
 「阿呆やなア、船が出たのやがな」アゝそうか、清やんゑらい事をした「何うしたのや」忘れ物をし